

教室に差し込む光から春を感じられるようになり、桜の蕾も春を待っている今日、私たちは卒業式を迎えることができました。

本日はお忙しい中、私達のためにこのような心のこもった卒業式を開いていただき、ありがとうございます。

お忙しい中出席してくださいました校長先生をはじめ先生方、保護者の皆様、卒業生一同心からお礼申し上げます。

入学した頃は、バスや電車などなれない通学に不安でいっぱいでした。新しい仲間と新しい環境に戸惑いもありましたが、人数が少ないことで一人一人と話す機会も増え、少しずつ仲良くなることができました。一年生の頃はコロナ禍で、みんなと会えないことも多く、寂しい日が続きました。しかし先生方がオンライン授業を行ってください、学習が遅れることもなく安心して過ごすことができました。また学校行事でも、体育祭は中止となりましたが、文化祭は行うことができました。中学生だけの文化祭でしたが、あまり会えなかった仲間との絆を深めることができました。二年生では高校生と合同の体育祭に参加し、高校生の熱気に圧倒されてしまいました。私達も負けじとソーラン節を踊りました。練習は私達が中心となり、みんなをまとめ、本番では、練習の成果を発揮し、中学生一丸となって踊りました。その時、体育祭の会場が一体になったように感じられ、とても感動したのを覚えています。文化祭は、高校の校舎で参加しましたが、高校生のアイデアや迫力に驚きました。そして、三年生での思い出は何ととっても修学旅行です。ブリティッシュヒルズではまるで海外にいるような体験ができ、不安だった英語も少し自信が持てました。三泊四日、先生方やクラスの人々と過ごした思い出は一生忘れることのない宝物です。

私達はこの三年間で、校訓である「創造・自律・親切」のもと、たくさんのことを学びました。校長先生、いつも私達のことを考え、優しく接してくださいました。そして先生方、私達一人一人のことを理解し、いつも見守ってくださいました。毎日の授業は厳しさと優しさがあり、理解するまで根気強く教えてくださいました。学習だけでなく、日々の悩みや相談にも親身になって対応してください、とても安心して過ごすことができました。お陰で私達は、三年間で大きく成長することができました。ありがとうございます。

一番近くで支えてくれたお父さんお母さん、色々心配をかけたと思います。三年間いつも優しく見守ってくれてありがとうございます。嬉しいときには私以上に喜び、悩んでいるときには一緒に解決策を考えてくれました。喧嘩をしながらもたくさん話した時間を私は大切に思っています。

三年間はあっという間に過ぎてしまいました。一人一人を大切にし、お互いを尊重しあえる素晴らしい仲間ができました。ときには、ぶつかり合うこともありましたが、一つ一つ乗り越えることで、かけがえない友達ができました。

これから私達は、それぞれの夢に向かってまた新しい一歩を踏み出します。埼玉平成中学校で学んだことを糧として努力していこうと思います。

最後になりましたが、学校生活を支えてくださったすべての方々に、あらためて、感謝申し上げます。これからも、私達を見守りご指導をよろしく願います。埼玉平成中学校のさらなる発展を願って代表の言葉とさせていただきます。

令和六年三月二十三日

卒業生代表 飯尾桜羽